

持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム (HLPF) 2018

持続可能な開発目標 (SDGs) は今年で採択から3年を迎える。目標の達成に向け、各国政府の代表が進捗や課題を話し合う場として毎年「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム」(以降HLPF)が開催されている。今年も7月にニューヨークの国連本部で開催された。

協力：国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

報告書から見た各国のSDGs進捗状況

今年は「持続可能で強靱な社会に向けた変革」を全体のテーマとし、目標6 (水)、7 (エネルギー)、11 (都市)、12 (生産と消費)、15 (陸の豊かさ)、17 (パートナーシップ) について集中的に議論が行われた。また、フォーラムには各加盟国からSDGs達成に向けた取組を報告する自発的国家レビュー (Voluntary National Reviews: 以下VNR) が提出され、46カ国が報告を行った。SDGsが国家戦略・計画に反映されたケースや、VNRの作成過程でビジネスセクターとの話し合いが実施されたケースが多く報告され、前年からの進捗が見られた。

アジア太平洋地域での取組も着実に進んでいる。バングラデシュ、インド、ネパールでは、SDGsが既存の国家計画委員会の指針に反映された。また、日本、アゼルバイジャン、トルコはSDGsの実施に向けた新たな枠組みを政府内に設置した。

日本では自治体の取組は評価を受けた一方で、国連持続可能な開発ソリューション・ネットワークの分析によるSDGsの達成度ランキングでは、ジェンダー平等や気候変動対策、漁業資源の管理に関する課題が指摘され、前年より順位を落とし、15位となった。国連加盟国全体の課題としては、VNRの作成やSDGsを推進するための国の公的な枠組みで、非政府組織の関与と不足が指摘された。

SDGsの進捗は、国、地域、目標毎に大きな差があり、特に後発開発途上国、内陸開発途上国、小島嶼開発途上国に対する



UN Photo/Eskinder Debebe

HLPFのVNRセッションの様子

追加支援や資金調達チャンネルの確保が必要となる。SDGsが理念として掲げる「誰も取り残さない」社会の実現に向けて、包摂的なガバナンスの構築や、多様な主体の取組を調整・推進するための国の組織の設置と強化、地域におけるSDGsの加速化といった課題への取組が今後期待される。

参考文献：

- BERTAZZI, PIETRO, and CHARLOTTE PORTIER. "Business Engagement in SDGs Follow up and Review: Lessons Learned after Three HLPFs, Preparing for 2019." IISD SDGs Knowledge Hub. September 6, 2018. Accessed September 27, 2018. <http://sdg.iisd.org/commentary/guest-articles/business-engagement-in-sdgs-follow-up-and-review-lessons-learned-after-three-hlpfs-preparing-for-2019/>.
- "SDG INDEX AND DASHBOARDS REPORT 2018." July 17, 2018. Accessed September 27, 2018. http://www.sdgindex.org/assets/files/2018/01/SDGS_GLOBAL_EDITION_WEB_V9_180718.pdf.
- Sharma, Anju. "Summary of the 2018 Meeting of the High-level Political Forum on Sustainable Development." Earth Negotiations Bulletin. July 21, 2018. Accessed September 27, 2018. <http://enb.iisd.org/download/pdf/enb3345e.pdf>.
- Sunam, Ramesh. "Implementing the 2030 Agenda in Asia and the Pacific: Insights from Voluntary National Reviews." UNU-IAS Policy Brief No.14, 2018. Accessed September 27, 2018. http://collections.unu.edu/eserv/UNU:6545/UNU-IAS-PB-No14-2018_1.pdf.
- RISSE, NATHALIE. "HLPF Report Notes Strong Momentum on 2030 Agenda." IISD SDGs Knowledge Hub. September 18, 2018. Accessed September 27, 2018. <http://sdg.iisd.org/news/hlpf-report-notes-strong-momentum-on-2030-agenda/>.
- United Nations. 2018. Voluntary National Reviews Database. <https://sustainabledevelopment.un.org/vnrs/>

現地レポート

問われる実行策と自治体の躍動

今夏のHLPFで発表された46カ国のVNRを加えると、VNRが開始された2016年から通算して102カ国 (延べ111カ国) がVNRを発表したことになる。今回のVNRを概観すると、2030アジェンダの要素を国家政策に盛り込んでいるという各国の報告に対して、その達成に向けた実行段階での具体的なアプローチを問う議論が交わされたことや、アイルランドやスイスのようにユース世代と協力した発表が行われたことは印象的だ。また、目標11 (住み続けられるまちづくりを) がレビュー対象だったこともあり、ニューヨーク市による自発的自治体レビュー (Voluntary Local Review: VLR) の発表や、特別イベント「地方・地域政府フォーラム」の初開催など、自治体の動きも目立つ10日間だった。



高木 超 (たかぎ こすも)

明治大学大学院グローバル・ガバナンス研究科 (博士後期課程) / SDGs-SWY 共同代表
NPO等を経て、2012年から大和市職員として、住民協働等を担当。17年に退職後、クレアモント評価センター・ニューヨークにて1年間「SDGsの地域での活用」に関する調査研究を行う。現在は、東京を拠点に活動中。